

平成20年 1月

前田昭宏 学位論文審査要旨

主 査 西 連 寺 剛
副主査 林 眞 一
同 佐 藤 建 三

主論文

Induction of efficient apoptosis and cell-cycle arrest in tumor cells
by adenovirus-mediated *p53* A4 mutant

(アデノウイルスベクターを用いた*p53* A4変異体導入による癌細胞での効果的なアポトーシス及び細胞周期停止の誘導)

(著者：前田昭宏、中村誠一、磯野正人、尾崎充彦、井藤久雄、佐藤建三)

平成18年3月 Pathology International 56巻 126頁～134頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究はアデノウイルスベクターを用いて、p53遺伝子の変異体であるp53 A4を癌細胞に導入し、野生型p53に比べて少量のウイルス量で癌の抑制効果があるかを検討したものである。その結果、野生型p53を組み込んだウイルスベクターに比べてp53 A4変異体を組み込んだベクターは、低濃度のウイルス量でカスパーゼ活性の上昇やDNAラダーの形成など、効果的なアポトーシス誘導活性を持つことを明らかにした。本論文の内容は、p53 A4を組み込んだアデノウイルスベクターの有用性を示唆するものであり、癌の遺伝子治療の基礎研究において明らかに学術水準を高めたものと認める。